

# 令和4年度 豊島区生活支援体制整備事業

1

地域のささえあいの  
仕組みづくり協議会の  
運営

2

地域資源データベース  
システム (Ayamu) の  
運用

3

としま  
ベンチプロジェクト

4

広報「つながる地域  
(まち) づくり通信」  
の発行

5

高齢者の生活支援推進  
員(第2層SC)活動支援

6

地域の実態調査と  
ネットワークの構築

## 豊島区全域 （第1層）

協議体

### 地域のささえあいの仕組みづくり協議会 （第1層協議体）

高齢者の生活支援に関わる区全域の共通課題抽出や対応策を検討。区全域での取組や小地域（第2層）での実践につなげる。

### 第1層生活支援コーディネーター

＜区内全域の地域課題の把握・取組提案＞  
地区懇談会や関係機関などから得られた情報等を活用して、第1層協議体と共有し課題提起や課題解決のための取組を提案する。

#### ＜第2層圏域の活動支援＞

第2層生活支援コーディネーターなどと連携・協働しながら、圏域での地域活動や取組などについて支援・助言を行う。 など



第1層協議会等で検討した、課題解決に向けた活動を提案



## 区内8つの圏域 （第2層）

### 第2層生活支援コーディネーター

＜地域課題・生活支援ニーズの把握＞  
地区懇談会などの協議の場や、高齢者総合相談センター・CSWなどの関係機関との情報共有などを通じて、高齢者の生活支援に関する課題やニーズを把握する。

＜地域資源の構築＞  
高齢者の通いの場やなどの地域資源の構築を行い、地域課題解決に取り組む。

＜担い手の養成・活躍の場の確保＞  
高齢者の社会参加を促進・実現するための支援・調整を行う。

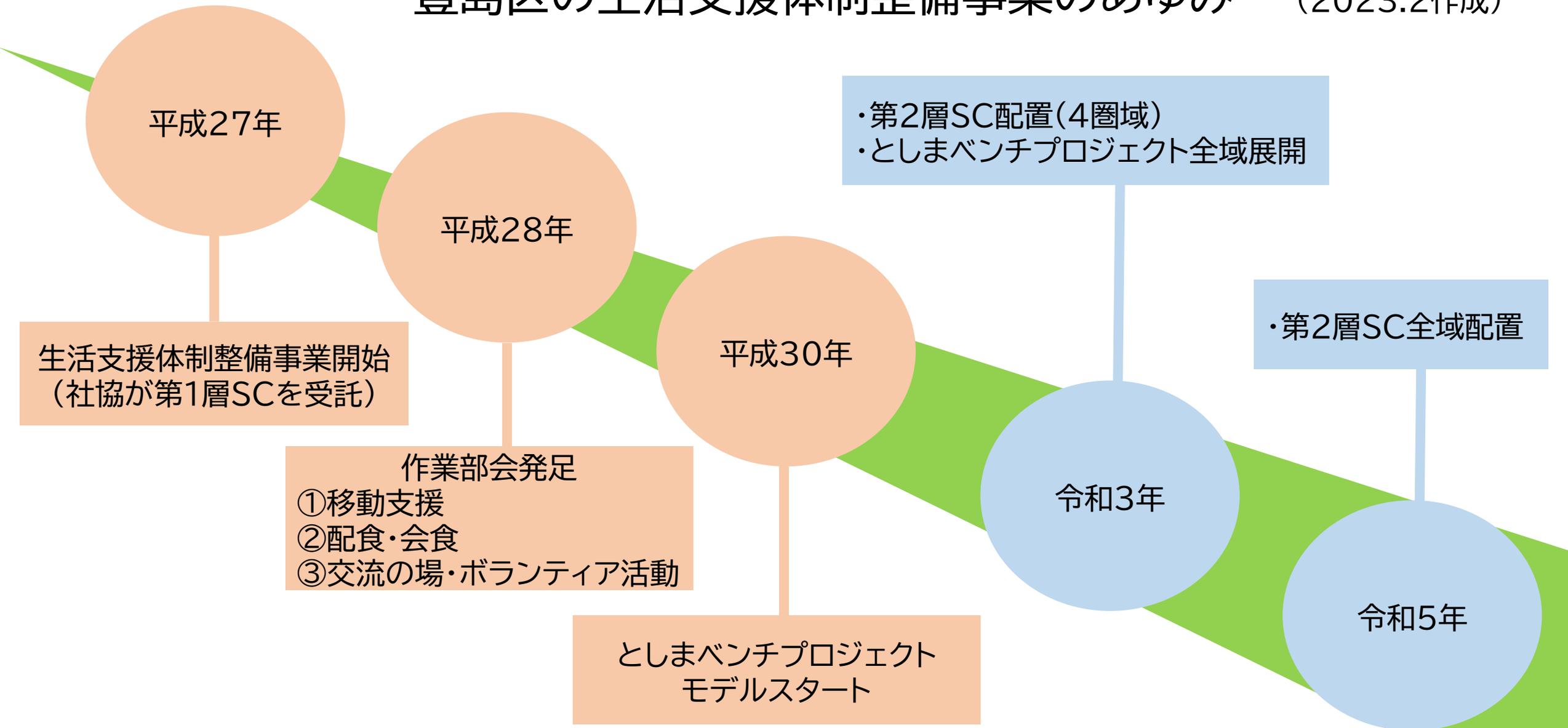
など



小地域（第2層）で把握した地域生活課題を共有・検討

# 豊島区的生活支援体制整備事業のあゆみ

(2023.2作成)



# 1.地域のささえあいの仕組みづくり協議会(第1層協議体)の運営について

協議会の委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などからなる11名です。



開催日	主なテーマ	ゲスト	参加者
第1回 令和4年5月26日	高齢者のスマートフォン利活用に関する啓発・情報発信	(株式会社サンシャインシティ)	18名
第2回 令和4年9月21日	区全体の地域課題共有・これからの取り組み検討		16名
第3回 令和5年2月22日	地域活動の場の現状整理と資源把握について		15名

# 2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

- ・地域資源の可視化と有効活用
- ・プロジェクトチームを実施し運用 (2019年度運用開始)

掲載する情報は、社会参加や生活支援に関わる団体情報や活動ができる場所（体操や趣味のサークル、ボランティアグループ、サロン等）



- 高齢者総合相談センター  
見守り支援事業担当
- 生活支援  
コーディネーター
- 社会福祉協議会  
CSW
- 豊島区役所  
高齢者福祉課



地域資源情報データベースシステム  
\*カシオ計算機株式会社運営の「Ayamu」を活用しています。

ささえあいの地域づくりの  
ための情報活用



窓口での情報提供



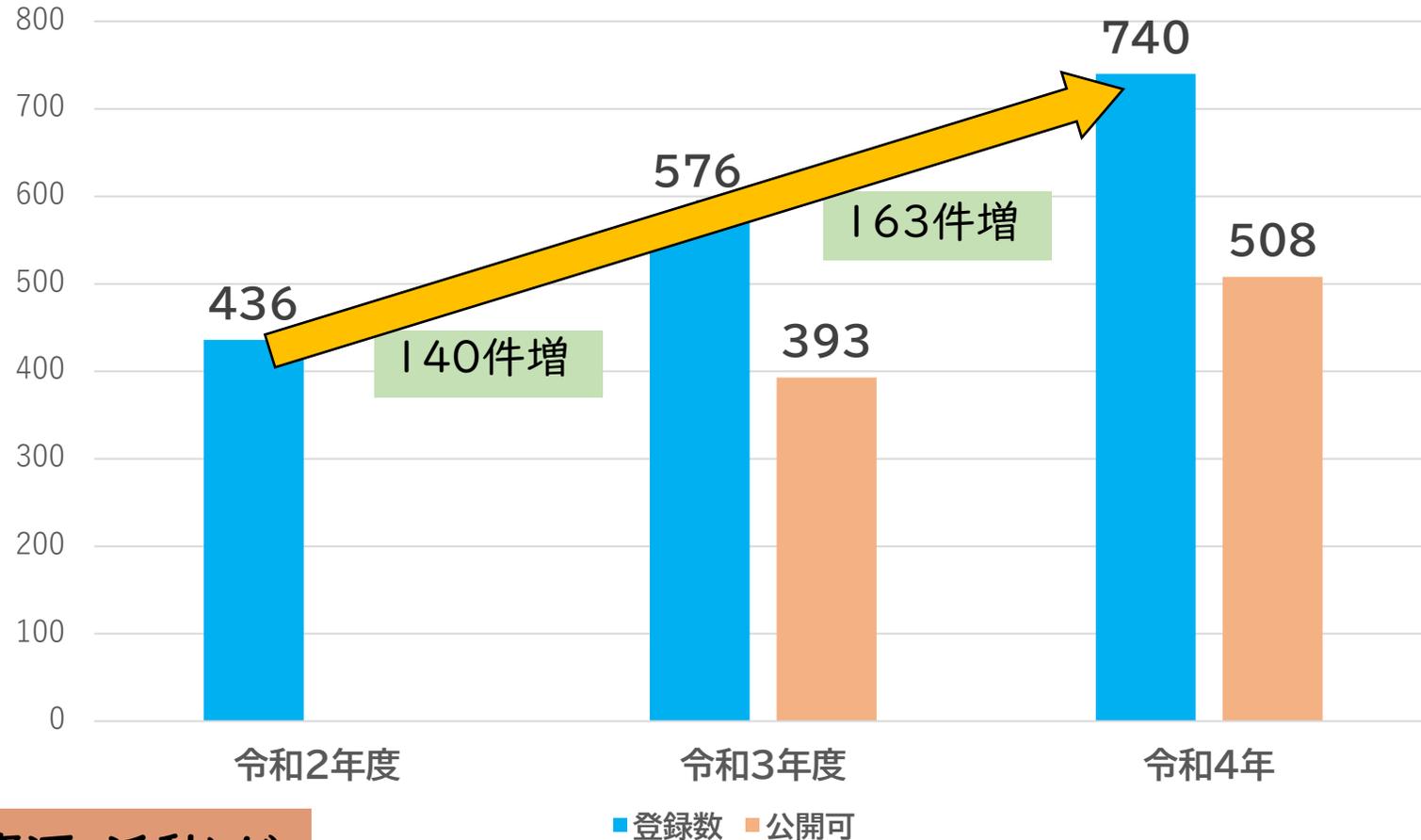
- ★情報は以下の 目的で活用
- ①区民への活動のご紹介
  - ②団体と担い手のマッチング
  - ③区域や圏域別の地域アセスメント

## 2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

### ①AyamuPT開催

年2回開催。→次年度は高齢者の生活支援推進員が全圏域配置になるため、内容もリニューアル予定。

### ②活動・サービス情報 登録数



Ayamuという宝箱に700個の宝物(地域資源・活動)が入っています!(令和5年3月3日時点)

### 3.としまベンチプロジェクト

地域のささえあいの仕組みづくり協議会の委員から、今年度の取り組みについて聞き取りを実施

→ 地域住民が頑張っ実現できるようなことを取り組むべき

→ これまでの議論中で「高齢者が自分の足で外出しやすいように地域にベンチを設置する」

「ベンチを置くことで地域にコミュニティができる」

等の意見をもとにベンチプロジェクトを実施

住宅街や道路沿いで、民家の植え込みの端や縁石、ポールなどに座って休んでいる方を見かけることがあります。不安定な場所に座って、後ろに倒れこんでケガをした高齢者を家に送り届けたという話もよく聞きます。

長時間歩くのがつらいなどの理由で外出を控え引きこもりがちになる高齢者、ちょっと休めると助かる親子連れなどが、ベンチがあると途中で休憩し、安心して外出できます。

また、ベンチを置くことで、そこに小さなコミュニティができ、人が座っていることで地域の防犯にもつながり、活発で暮らしやすいまちになります。



# 3.としまベンチプロジェクト



## こんなまちをみなさんとつくりたい

### ☆いつまでも自分の足で歩けるまち

長い道のりを歩くのが難しい高齢者なども、ベンチを一里塚のようにして休むことができると、自分の足で歩ける範囲が広がります。高齢者だけでなく、ベビーカーを押す子育て世代など、みんなに優しいまちになります。



### ☆でかけたくなるまち

休む場所があることで、まちに人が増え、自然とコミュニケーションも広がります。更に地域の防犯や見守りなどの効果も期待できます。

### ☆つながりのあるまち

地域の住民や関係機関、お店、企業、行政等が協力してベンチを設置することで、つながり深まり、誰もが住みやすいまちになります。



## プロジェクトの参加特典

☆ステッカーを進呈します。

☆ステッカーを貼ったベンチは保険対象となります。

みなさんもプロジェクトに  
参加してみませんか？

☆ベンチの維持や管理は設置者をお願いしています☆

①今あるベンチを誰でも使えるベンチに



ステッカーをお渡しします！

②新たにベンチを置きたい



一緒に考えます！下記までご相談ください

詳しくはホームページを  
ご確認ください



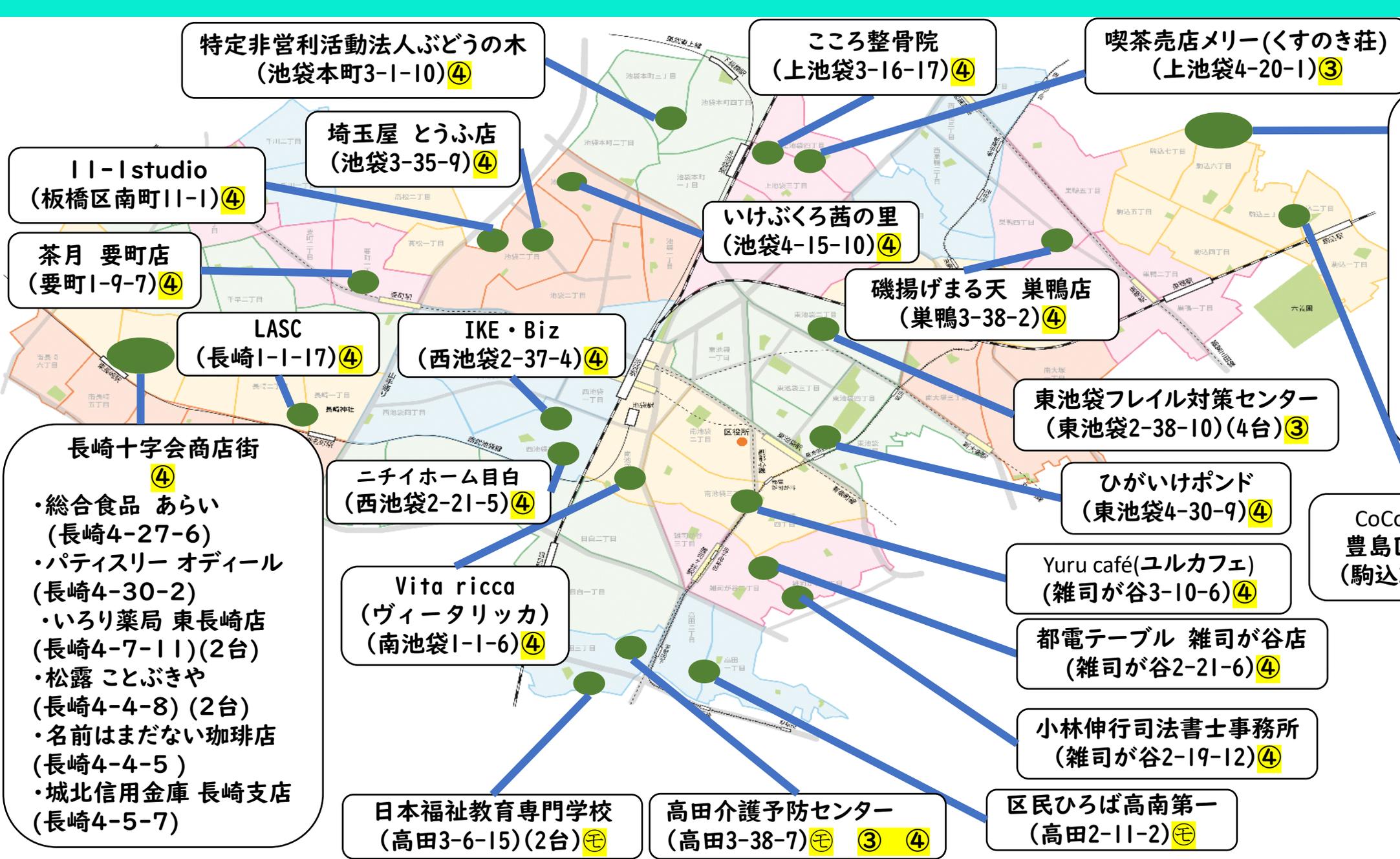
# 3.としまベンチプロジェクト

⑦:モデル

③:R3

④:R4

モデル:3カ所(4台)  
R3:3カ所(6台)  
R4:18カ所(31台)



- 菊
- 東部
- 中央
- ふくろう
- 医師会
- いけよん
- アトリエ
- 西部

- 長崎十字会商店街 ④
- 総合食品 あらい (長崎4-27-6)
  - パティスリー オディール (長崎4-30-2)
  - いりり薬局 東長崎店 (長崎4-7-11) (2台)
  - 松露 ことぶきや (長崎4-4-8) (2台)
  - 名前はまだない珈琲店 (長崎4-4-5)
  - 城北信用金庫 長崎支店 (長崎4-5-7)

# まち 4. 広報「としまつながる地域づくり通信」の発行



地域資源情報について意見交換実施

豊島区では地域資源情報データ、高齢者の生活支援推進員、高齢地域資源・インフォーマル情報



高齢者の生活支援推進員(ふくろうの杜)が地域のお散歩マップをご紹介します。



「近所に趣味や体操ができる場所がある」「無理なくできるボランティア活動を」「生活支援のサービスを提供してくれるお近くの高齢者の生活支援推進員、高

配架先: 各区分民らば、高田介護予防センター、ふくろうの杜高齢者総合相談センター など

お問い合わせください(090-8514-0542)

他地域の高齢者の生活支援推進員も地域マップづくりなど、検討しています。

裏面もあります

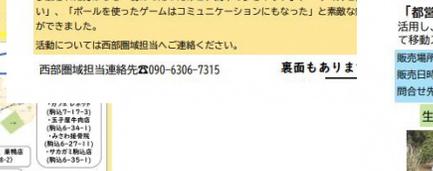


高齢者の生活支援推進員

各地域での取り組み紹介



生活課題に対する取り組み紹介



「ポールを使ったゲームはコミュニケーションにもなった」と笑顔ができました。

活動については西部圏域担当へご連絡ください。

西部圏域担当連絡先 ☎090-6306-7315

裏面もあります

## 第15号～20号発行

データはこちら→

スマホライフのすすめ&地域で活躍guide 発行

区内全域の課題ともなっている、スマートフォン操作に関することや社会参加について、情報発信を行いました！

高齢者総合相談センター等で配布しております。

スマホライフのすすめ

スマートフォンの学べる場(常設)情報やスマートフォンを実際に活用されている方のインタビューを掲載しました！

### 高齢者の生活支援推進員 企画 セカンドライフ応援講座・相談会 実施

1 月18日(水)、お仕事や介護・子育て等がひと段落した方が、豊島区で活動している方や団体とつながる機会として、「セカンドライフ応援講座・相談会」を開催しました。

また、区民の方が地域で活躍するきっかけづくりとして「地域で活躍guide」(裏面参照)を発行しました。

当日は30名以上の方が来場され、初の試みとは思えないほど、盛況でした！

相談会(団体の紹介や相談ブース)

- 区民ひろば
- 地域コミュニティの拠点として、事業やイベントを実施
- 豊島ボランティアセンター
- ボランティア活動全般に関するこの相談窓口
- としまNPO推進協議会
- 社会貢献団体の関係形成と活動支援をする
- 中間支援組織
- みどりの協定(花壇ボランティア活動)
- 公募等の公募が地域で実施された活動の支援
- 傾聴ボランティアステーション
- 話を聴いてほしい高齢者の方への傾聴活動
- 高齢者福祉課
- (家事補助スタッフ、介護予防リーダー)
- 介護予防に関する活動

豊島ボランティアセンター ↓

1 傾聴ボランティアステーション

参加者アンケートより

高齢者クラブ

【講演会①登壇者】  
谷津氏(介護予防リーダー)  
小山氏(高齢者の生活支援推進員)

【講演会②登壇者】  
西部氏(傾聴ボランティア)  
東氏(高齢者の生活支援推進員)

講演会では「なぜ地域と関わろうと思ったのか」、「地域で活躍する時の第1歩の踏み出し方」など、活動されている方から具体的に聞ける貴重な機会となりました。

地域住民や団体への情報発信、活動啓発を行うとともに地域のささえあい意識を醸成

# 5. 高齢者の生活支援推進員(第2層SC)活動支援

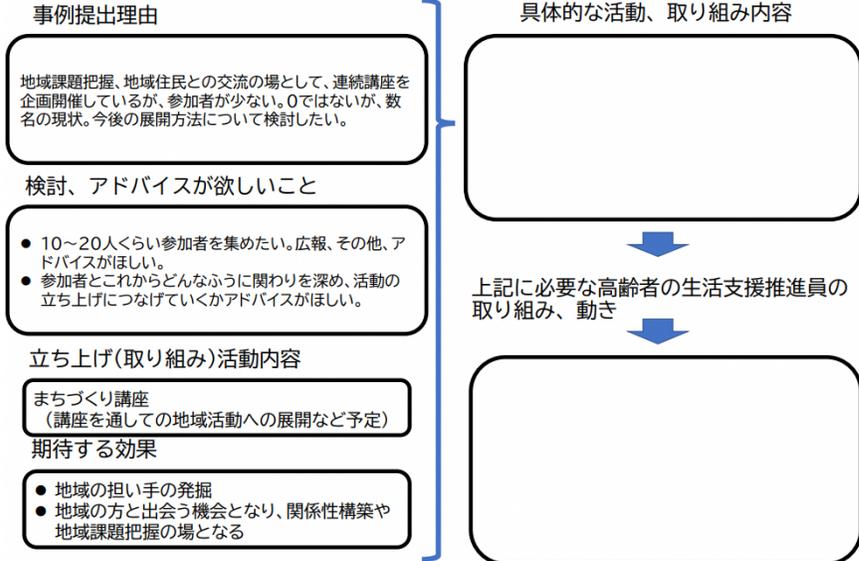
第2層生活支援コーディネーターに対し、活動に対する助言、情報提供の支援を行いました。

## ①お役立ち手帳作成



## ②研修実施

### 西部圏域 活動検討



## ③地域活動同行

こちらの活動を応援しています

都宮住宅における買物弱者支援事業に関して  
高齢者の生活支援推進員  
西部圏域担当：岩井

お問い合わせはこちら  
電話番号：090-6306-7315



# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ①地域デビューへの取組み

### セカンドライフ応援講座・相談会実施

豊島区生活支援体制整備事業

人生100年時代を楽しく暮らすために

### あなたのセカンドライフを応援!!

～自身の知識やキャリアを活かしてみませんか?～

地域で活動している方のお話を聞いて、様々な団体の紹介や相談ができるイベントです。

【開催日】令和5年1月18日(水)  
14時～16時

【会場】としま区民センター7階 池袋駅東口から徒歩7分  
(東池袋1-20-10)

【申込方法】電話受付  
【問い合わせ・お申込み】03-4566-2432  
豊島区高齢者福祉課 生活支援体制整備担当

定員 50名 (先着)

### さあ、新しいことを始めましょう!

#### 第1部：講演会 14時～

①定年後に地域で自分を活かそうと思っただきかけについて  
【ゲスト】  
谷津氏(介護予防リーダー) 谷津氏  
小山氏(高齢者の生活支援推進員) 小山氏

②私がやっている活動について  
【ゲスト】  
西部氏(婦聴ボランティア) 西部氏  
東氏(高齢者の生活支援推進員) 東氏

#### 第2部：相談会 15時～

団体の紹介や相談ブースにてお話ができます。

【参加団体】  
ハローワーク池袋  
豊島ボランティアセンター  
豊島区シルバー人材センター  
婦聴ボランティアステーション  
高齢者クラブ

ファミリーサポートセンター  
としまNPO推進協議会  
としまビジネスサポートセンター  
みどりの協定(花壇ボランティア活動)  
家事援助スタッフ/介護予防リーダー、他

参加団体についてはQRコード参照

【企画】  
高齢者の生活支援推進員



講演会

相談会



# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ②高齢者のスマートフォン利活用に関するチラシ作成

学びの「場」情報や実際にスマートフォンに替えた方のインタビューなどを掲載。

豊島区生活支援体制整備事業

スマホライフ を楽しむみなさんに伺いました！！

～あなたの生活がもっと楽しく、もっと便利に～

### スマホライフのすすめ

地域の方に聞きました。スマートフォンを利用して、便利に感じることは？

アンケート協力者：65歳以上の区民50人

- 天気やニュースなどの情報を得られやすくなった **35人/50人**
- 写真が綺麗になったので撮る機会が増えた **33人/50人**
- 固定電話やガラケーに比べて、通話の音が聞きやすくなった **27人/50人**
- 二次元バーコードの読み取りが便利 **24人/50人**

※スマートフォン利用者の聲音、感想をまとめたものであり、スマートフォンの性能を保証するものではありません。

楽しみが増えた、便利になったと感じている方が多いですね！この機会に、スマートフォンの利用を検討してみたいか？

発行 豊島区 高齢者の生活支援推進員（第1層生活支援コーディネーター）

【問い合わせ先】  
豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課  
〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階  
電話 03-3981-4392 メール csw\_seikatsu@a.toshima.ne.jp

他にも、ご家族や友達とビデオ通話、お買い物などできることがたくさんあります！

話しかけて（音声認識）調べ物ができます

今いる場所や行先までの道順がわかります

豊島区内でスマートフォンの使い方を知らることができる、相談できる場所は、マップをご覧ください。

### 豊島区スマートフォンおしえてMAP

スマートフォン操作方法を知りたい  
アプリケーションの使い方を知りたい  
携帯電話ショップ

※携帯電話ショップは通信契約会社関係なく、ご相談できます

興味のある活動や講座がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

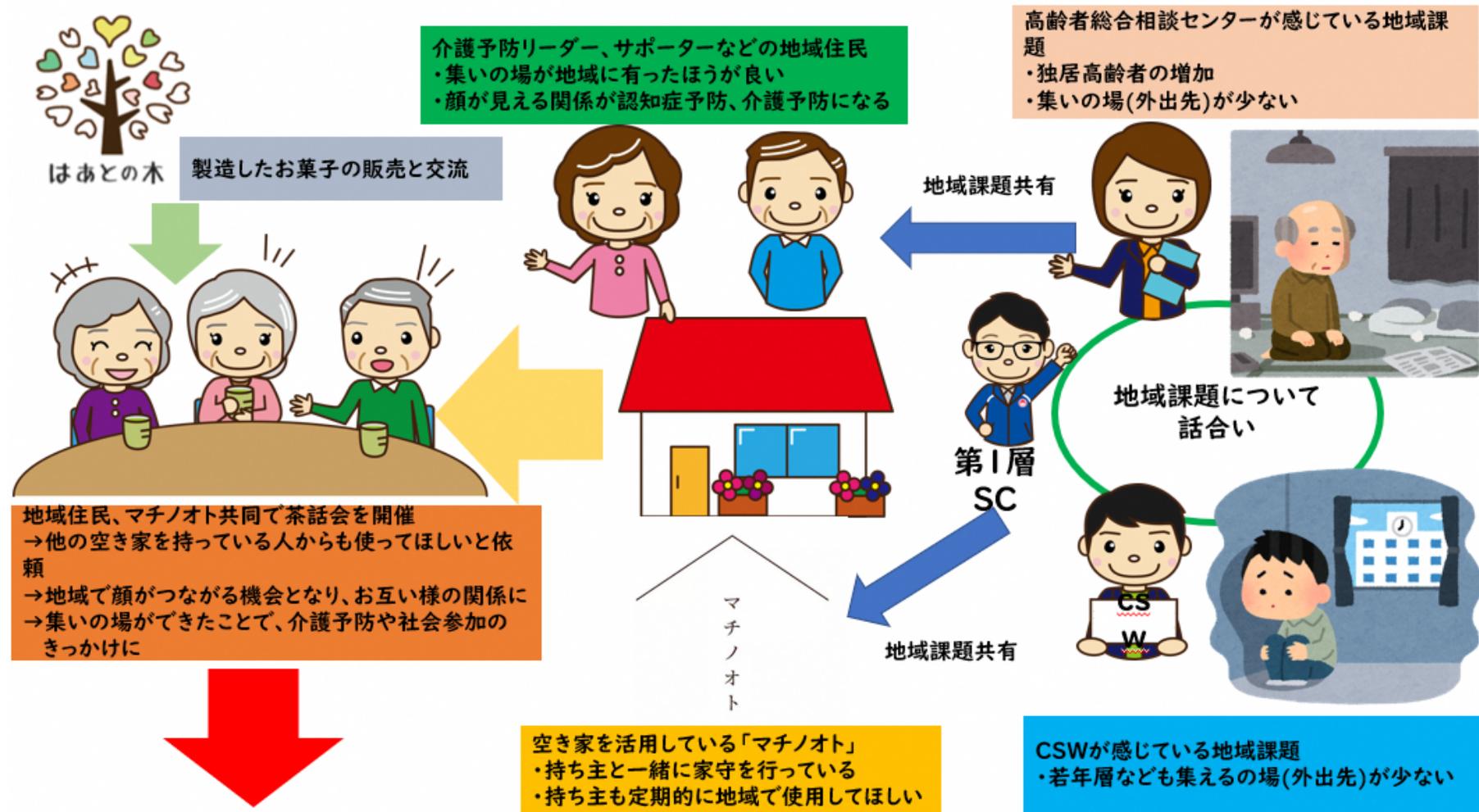
15 すがもシニアタブレットサークル 〒北大塚1-21-8-101 電話080-4722-5499 ◎有償	16 ドコモショップ巣鴨駅前 〒巣鴨3-27-6 電話03-5961-3200 ◎無償（一部有料講座あり）
17 ソフトバンク巣鴨 〒巣鴨1-18-8-1F 電話03-5978-6613 ◎無償	18 きゅりっとITサロン 〒駒込3-20-14-1F 電話03-6672-7012 ◎有償（講座受講者無料）
19 ドコモショップ駒込 〒駒込3-3-17 電話03-6903-5818 ◎無償（一部有料講座あり）	20 ソフトバンク駒込 〒駒込1-42-2-101 電話03-5395-1023 ◎無償

※記載されている内容のほかに区主催でスマートフォン教室を実施しております。 令和4年11月現在

# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

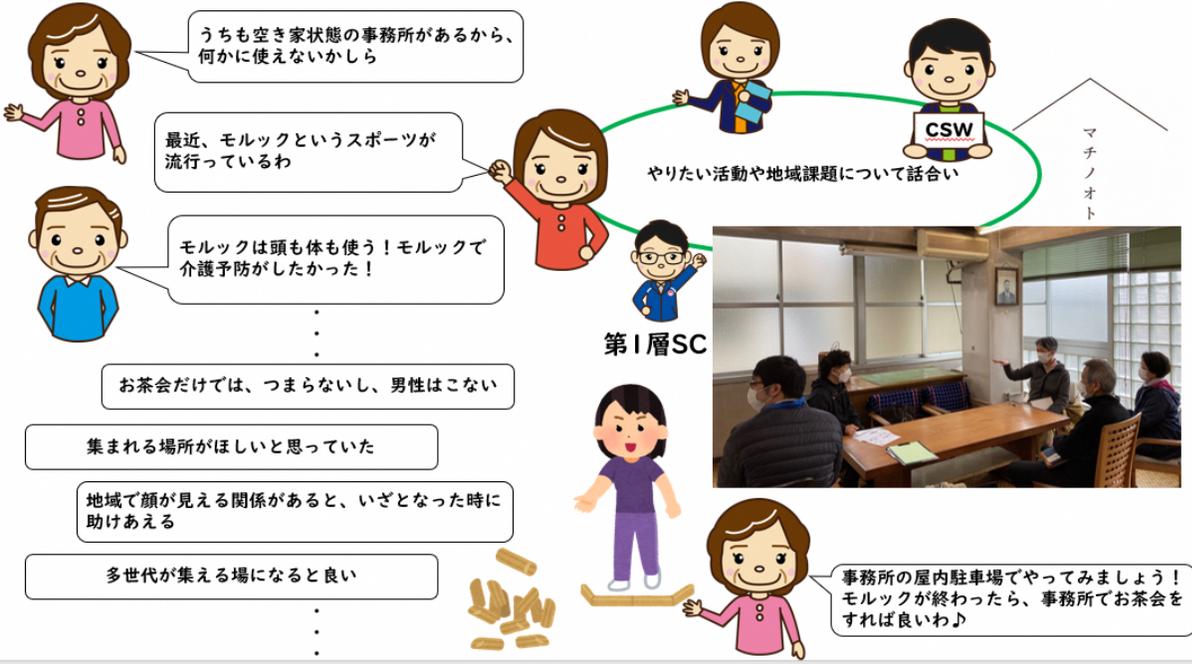
## ③通いの場づくり(第2層SC未配置圏域)

いけよんの郷圏域で包括、CSW、介護予防リーダー、地域活動団体と連携してサロン立ち上げ。

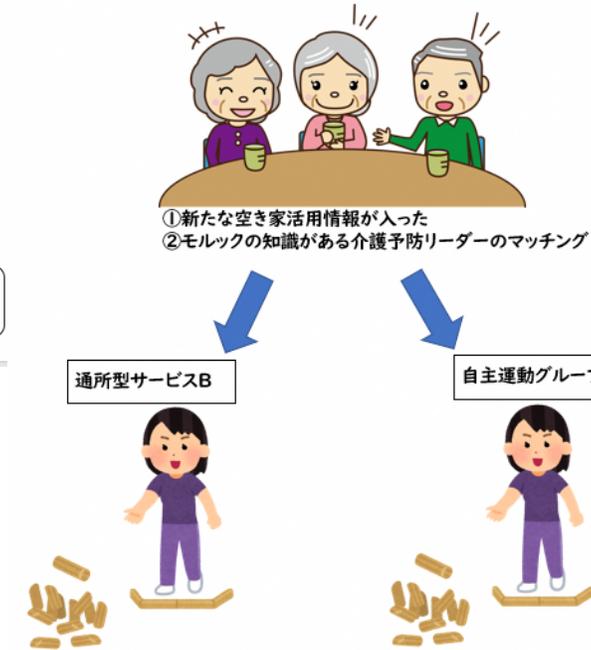


# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ③通いの場づくり



空き家活用の居場所づくりを検討していくなかで、多くの居場所ができました。



いけよんの郷圏域で上がっていた課題  
・居場所、集いの場が少ない  
・介護予防リーダーの活躍の場が少ない

新たな居場所を住民と立ち上げ



# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ③通いの場づくり

### 空き家を活用した場づくり

2022.6

豊島区の特徴

- ・ 日本一の過密都市
- ・ 活気があり、消滅可能性都市を脱却
- ・ 一人暮らし高齢者の割合が全国一（75歳以上、郡部除く）
- ・ 外国人人口が多い（人口の約1割）
- ・ 企業が多い など

活動の流れ

生活支援体制整備事業

住民同士がささえあい、年を重ねても誰もが安心して過ごせる地域づくり、ささえあいの仕組みづくりの事業です。  
これを実現するために、協議体を設置して協議をすすめています。

豊島区には空き家が約2.7万戸あるといわれています。過去35年間、おおむね増加傾向をたどりながら、約2倍に増えました（平成30年住宅・土地統計調査、総務省統計局）。また、建物全体に対する空き家の割合もおおむね上昇傾向となっており、直近では13.3%と23区で一番高くなっています（平成30年住宅・土地統計調査、総務省統計局）。空き家率が高いために、豊島区の空き家問題は都内でも深刻であるといわれています。

空き家の内訳としては賃貸用住宅の空き家が全体の9割程度を占める一方で、持ち家の空き家は約1割となっており、報道などで流されるショッキングな空き家の映像は大抵が戸建て空き家ですが、こうした空き家は豊島区では都内でも少ないといえます。

一方で、将来空き家になる可能性がある住居は「空き家予備軍」と呼ばれていますが、これに該当する65歳以上の単身持ち家世帯は約5,500世帯あります。これは、23区平均より高い水準にあり、将来の空き家問題が今以上に深刻になる可能性があることを示唆しています。

豊島区では、空き家を資源と捉え、居住支援や地域貢献事業等への有効活用を進めているほか、将来の空き家問題にも目を向け、「住まいの終活相談」窓口を設け、空き家の発生予防に取り組んでいます。

空き家活用の流れをマニュアル化し、第2層SCや地域の方が活用できるツールを作成。

# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ④都営住宅における買物弱者支援事業（都事業）

東京都と豊島区で協定を結び、区内の都営住宅での移動販売が、自治会の了承のうえ可能となった。当時の民生委員児童委員会長から買い物に関して相談があり、この事業を用いて都営住宅内での移動販売を導入。

### 導入までの流れをマニュアル化

- ・第2層SCの地域活動ツール
- ・他自治体SCへの情報提供

ニーズがあれば、  
ぜひ第2層SCに！！

### 豊島区での都営住宅における買物弱者支援事業の流れ

2022.11



#### 都営住宅における買物弱者支援事業の目的（東京都HPより）

日常の買物が困難な状況に置かれている者（買物弱者）への支援策として、都営住宅団地内敷地で移動販売サービスを提供することにより、都営住宅居住者の日常生活の利便性向上とコミュニティの活性化に寄与する。

# 6.地域の実態調査とネットワークの構築

## ⑤その他

医師会圏域  
通所B  
立ち上げ支援

区境商店街と  
連携した  
相談場拡充

介護予防リーダー  
大学生  
第2層SC未配置圏域  
CSW  
との  
スマホ相談会

区内の大学との  
連携検討

専門学生、留学生  
との  
地域住民交流会

マニュアル  
作成  
①多世代交流、  
地域公益事業  
②担い手活動支援

通所型  
サービスC  
ヒアリング